



同窓会新体制にむけての所信表明

明治学院同窓会 会長 竹越 浩一

〈支部活動の更なる発展を目指して〉

3年前の時に掲げた約9,000名の東京の空白地域を解消を目指し、2017年9月9日に城東支部（7区台東、墨田、荒川、足立、江東、葛飾、江戸川、）が設立し、続いて翌年2018年9月29日に城北支部（4区北、板橋、豊島、練馬）が立ち上がりました。同窓会115年目に全国すべての同窓生の地域支部が確立しました、このことを初代同総会長 井深梶之介さんに伝えたかったですね！

歴代の同窓会役員並びに同窓生の支えた活動が脈々とあってこそです。先人たちに感謝をしたいと思います。

これを機にさらに地域支部に力を注ぎたいと考えております。同窓生の縦横のつながりを密にして地域支部の全国どこでも一人でも地域支部に参加できる交流を奨めてゆきたい。

〈オール明治学院校友会（仮称）構想の実現は同窓会の発展にあります！〉

体育会系OB会、文連系OB会、愛好会OB会他、ゼミOB会のつながり、また卒後の職域団体でホテル白金会、不動産白金会、ヘボン経済人会、出版白金会など。学校単位での中学校・高等学校・大学の同期会、クラス会、また学部別OB会、なかには県人会などあらゆる組織が縦横につながる同窓会にしてゆきたい。

生徒、学生時代にクラブもゼミもしていない多くの同窓生も明治学院という繋がりで**一人でも参加し易い同窓会**にしてゆきたい。クラブ、ゼミも関係なく生徒、学生時代を過ごした同窓生で先日の城北支部総会への初参加者が「参加する勇気があるし実際ハードルが高かったけど勇気を奮ってきて良かった」とおっしゃってました。このように輪を広げてゆきたい。

本部理事はできるだけ地域支部並びに関連組織と接してその声を理事会に反映させていきたいと思います。

同窓会が目指している方向と大学校友会が目指している大きな方向は同じだと思います。同窓生（校友生）のために大学と学院三者で話し合いを進めております。

そして大学側と学院を交えて組織を一本化する道筋を造りたい。

〈広報活動〉

同窓会広報ツールとして「**明治学院同窓会をご存知ですか？**」パンフレットを2020年3月に制作いたしました。

今後、卒業式で新卒業生全員に配布（2020年3月は卒業式が中止となりました）する他、同窓会をホームページからダウンロードして、全国すべての同窓会関係者がご利用いただけます。また、同窓会事務局にご連絡いただければ、印刷物もお送りいたします。

